



2022年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2021年10月27日

上場会社名 住友化学株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4005 URL https://www.sumitomo-chem.co.jp/
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 岩田 圭一
 問合せ先責任者（役職名） 経理部長（氏名） 丹 昌敏（TEL）03-5543-5160
 四半期報告書提出予定日 2021年11月5日 配当支払開始予定日 2021年12月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有（証券アナリスト、機関投資家向け）
 （百万円未満四捨五入）

1. 2022年3月期第2四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		コア営業利益		営業利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	1,325,210	26.6	148,897	178.4	144,272	187.5	107,810	655.5	88,884	—	82,317	—
2021年3月期第2四半期	1,046,771	△5.5	53,477	△36.7	50,188	△51.1	14,270	△71.5	△2,244	—	△10,502	—
	基本的1株当たり四半期利益		希薄化後1株当たり四半期利益									
	円 銭		円 銭									
2022年3月期第2四半期	54.36		—									
2021年3月期第2四半期	△1.37		—									

（参考）持分法による投資損益 2022年3月期第2四半期 27,239百万円 2021年3月期第2四半期 △22,973百万円
 税引前四半期利益 2022年3月期第2四半期 146,781百万円 2021年3月期第2四半期 38,252百万円

※コア営業利益は、営業利益から非経常的な要因により発生した損益を控除した損益であり、経常的な収益力を表す損益概念です。
 （注）希薄化後1株当たり四半期利益については、潜在株式は存在するものの逆希薄化効果を有するため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2022年3月期第2四半期	4,082,799	1,547,759	1,080,891	26.5
2021年3月期	3,990,254	1,482,119	1,019,230	25.5

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	6.00	—	9.00	15.00
2022年3月期	—	10.00	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	14.00	24.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上収益		コア営業利益		営業利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,710,000	18.5	245,000	66.0	225,000	64.1	140,000	204.1	85.63

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2022年3月期2Q	1,655,446,177株	2021年3月期	1,655,446,177株
2022年3月期2Q	20,467,163株	2021年3月期	20,459,236株
2022年3月期2Q	1,634,982,685株	2021年3月期2Q	1,634,998,012株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

前連結会計年度において、企業結合に係る暫定的な処理が確定したことに伴い、前第2四半期連結累計期間の要約四半期連結財務諸表を遡及修正しております。なお、影響は軽微であります。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、潜在的なリスクや不確定な要因を含んでいます。実際の業績等に重大な影響を与える主な要因としては、当社グループの事業領域を取り巻く経済情勢、製品市場における需要動向、競争激化による販売価格の下落、原料品の価格の上昇、為替相場の変動があります。但し、業績に変動を与える要素はこれらに限定されるものではありません。